



件名

女性のための防犯教室(その1)

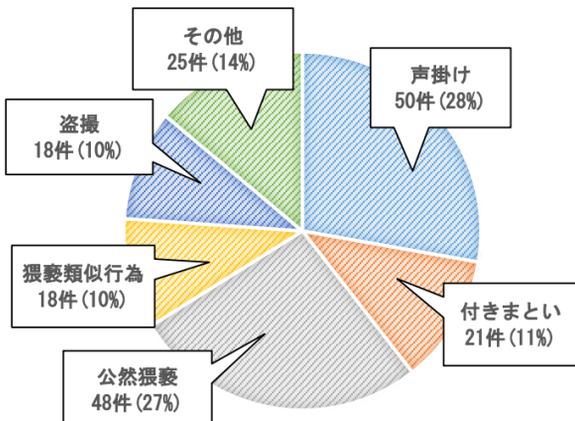
新型コロナウイルスの緊急事態宣言解除後の開放感や、天候も夏日が続くなど人の動きが活発化していますが、例年、女性を対象にした犯罪が増加する時期でもあります。県警発表の本年4月末現在の性犯罪関係の刑法犯認知件数(暫定値)は、強制性交等が6件(前年同期比-4件)で前年に比べ40%減少していますが、わいせつ犯(強制・公然)は、30件(前年同期比+11件)で前年に比べ57.9%増加しています。一方、昨年中の県内における女性を対象にした不審者情報は180件あり、その内訳は下表の通りです。「私は被害に遭わない」と油断することなく、各自が防犯意識の向上に努めてください。

女性対象180件
(19歳以上の女性)

2019年中の不審者情報認知状況

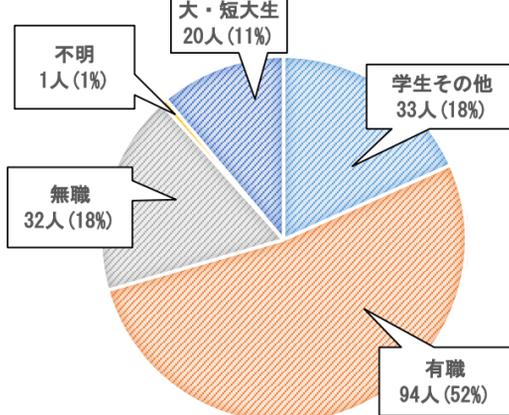
※ 県警提供資料

事案別



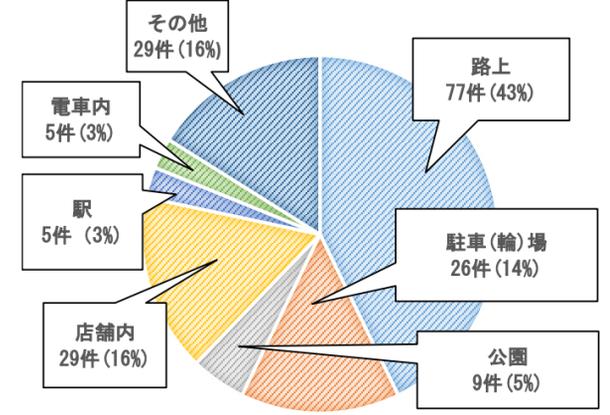
〔声掛け・公然猥褻で全体の約6割を占める〕

学識別



〔有職女性が全体の約5割を占める〕

場所別



〔路上での発生が全体の約4割を占める〕

被害に遭わないために ~基本編~

危険を回避するには



通学路や通勤路に、空地・廃屋・駐車場・公衆トイレ・地下道など危険な場所がないかあらかじめ確認しておく。



危険な場所を避けて、人通りの多い道・人家のある道・街灯がある道など、安全な道を選ぶ。



どうしても危険な道を歩かなくてはならない場合は、隙を見せず、いつもより周囲に気を配るなど、注意力をアップし、複数で歩いたり、防犯ブザーをすぐに使えるようにして携帯するなどの対策をする。

ワンポイントアドバイス

防犯ブザーをすぐに使えるようにしよう!

①



ワンポイント護身術

背後から臀部を触られたら...

- ① 相手の指を一本だけ掴む
- ② 掴んだ指を反対に反らす



相手が怯んだ隙に、大声を出しながら走って逃げ、助けを求めろ。

②

